

# 土砂災害に備えて

土砂災害ハザードマップで、土砂災害警戒区域や避難路・避難場所を確認しておきましょう。

## 大雨のときは

雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報・予報・警報等の情報を入手しましょう！

### 茨城県 土砂災害警戒情報

<http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/>

土砂災害警戒情報とは・・・  
大雨によるがけ崩れや地すべりの発生する危険性が高まったときに発表されます。土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに避難を開始してください。

## 土砂災害とは

台風や集中豪雨、地震などによる、土石流、がけ崩れ、地すべりのことを土砂災害と呼びます。市内では、がけ崩れの発生が予想される箇所があります。

### がけ崩れ

大雨によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、逃げ遅れる人も多く、大きな被害をもたらします。



#### ○がけ崩れの前兆現象

- ・がけに割れ目が見える
- ・がけから水が湧き出ている
- ・がけから出る水がにごる
- ・小石がぱらぱらと落ちてくる

土砂災害の前兆現象をみかけたら、ただちに市役所防災交通課に連絡しましょう。

結城市 市民生活部 防災交通課  
代表:0296-32-1111 内線 167・168  
直通:0296-34-0411



## 早めに自主避難を！！

浸水しているところを移動するのは、思ったより大変です。浸水深50cm(成人男性のひざ上程度)を上回ると歩行が困難になります。また、水中には思わぬ危険も潜んでいます。このため、以下のことを心がけ、早めに避難しましょう。

#### ■ 避難経路の確認

いざという時あわてないために、どこへどの道を通って避難するかを決めておきましょう。



#### ■ 非常用備品の準備

非常用備品は事前に準備し、定期的に点検しておきましょう。また、避難時の荷物は必要最小限にしましょう。



#### ■ 避難は歩きやすい靴で

ゴム長靴は歩きにくいので、はき慣れた底のかたい靴をはいて避難しましょう。



#### ■ 避難時には市役所などの指示に従いましょう

避難時は、あわてず、市役所や消防団の指示に従って行動しましょう。また、動きやすい服装で、2人以上で行動してください。



#### ■ 足元に注意

浸水時の避難は、足下が見えないことが多いので、慎重に歩きましょう。特に水中の溝や水路などに注意しましょう。



#### ■ 洪水時には川を渡らない

土砂災害警戒区域の南方向及び東方向には川が流れています。洪水時や水位が高いときには、川を渡らないようにしましょう。



#### ■ 逃げ遅れたら

生命を守ることを第一に避難が遅れ、危険が迫った場合には、生命を守ることを第一に考え、斜面から離れた施設の2階以上に避難して救助を待ちましょう。

#### ■ 災害時要援護者の方の避難に協力しましょう

土砂災害警戒区域の指定を受けている箇所には、自力で避難することが困難な高齢者が住んでいます。地域の方々の協力を得て早めの避難を心掛けましょう。



#### ■ 施設職員は、災害時要援護者の方の避難に配慮を

施設職員は、土砂災害警戒区域の指定を受けていることを認識し、避難準備情報や避難勧告にすばやく対応できるよう心掛けましょう。